



# ゴロスケ報々



「ゴロスケホーホー」  
 たつのよるは  
 ホタルがきれいだよー

## 友の会行事のお知らせ

### ●定点カメラで動物調査●

5月4日、新しいメンバーを迎え、4人で、カメラを設置しました。獣道を通って森の中に1歩入ると、散策路を歩く人たちに気づかれないように自然と気配を消して、動物になった気分です！これからどんな動物のどんな姿が写るか、楽しみです。昨年は、タヌキの親子、ノウサギ、台湾リスなど哺乳類7種（と同定不能な写真）、鳥類4種、昆虫、そして、「まっくろくろすけ」も写りました。

12月までの第2土曜日 10～12時、フィルム交換と、写真の同定をします（同定は7月から）。どなたでも参加できます。見分け方がわからなくても、1回ぎりの参加もOKです。

持ち物：水筒・タオル、少しですがやぶに入りますので、汚れても良い白っぽい長袖、長ズボン、動きやすい靴。帽子もあった方が汚れません。雨天等の場合は日程を変更しますので、センターに確認してください。

担当：事務局

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

# 事務局からのお知らせ

## ●5月定例会報告●

H23. 5. 15 (日) 13:00~14:00

出席者 中里 (議長)・関根 (記録)・青木・落合・高橋・平野・藤田・村松・渡辺R

1. 各行事ならびに、各PJの活動報告・予定を確認いたしました。
2. ZFCより  
スプリングフェアでの売上約18万円は全額を震災義捐金として神奈川新聞社へ。
3. 8月号のゴロ報の「ふむふむ」はカワセミファンクラブが担当する。
4. カニパト支援について  
今年度から会員各自が直接、小網代野外活動事務局に連絡していただき、市民ボランティアとして登録しカニパトを支援していただく方法に変更となりました。
5. センターより
  - a. ホタルの紙芝居ボランティアの募集 (6月11・18・19・25日)  
スタッフは17時30分集合 <お手伝いできる人はレンジャーまで>
  - b. 2011年度イベント案内版を配布しています。<希望者はセンターへ>
  - c. 横浜市立ろう学校児童保育支援について  
8月予定<ZFC予定> 他PJで参加希望者はレンジャーまで

<次回の定例会>

7月17日13:00~

・各PJ活動状況他

(定例会はどなたも参加できます。)

## ●5月理事会報告●

日時 2011年5月15日(日) 9:30~12:20

出席者 青木、落合、篠原、志釜、関根、中里、平野、藤田、村松、渡辺R

(欠席: 山口、秋元、漆原、小杉、佐野、中塚)

- 1 役員・担当理事互選  
・再任を確認
- 2 年間スケジュール  
・理事会: 11/20 中間報告・次年度方針、1/15 次年度事業計画、3/18 総会準備他
- 3 利用推進会議 (前期: 6月26日)  
・予定議題: 年度報告・計画、安全管理 (ボランティア保険・チェーンソー災害担保)、安全管理計画見直しスケジュール確認、その他
- 4 センター改修関連  
・各PJ等、和室は6月末までに整理
- 5 安全管理  
・新保険の事故発生時の請求手順、センター7月消防訓練への参加
- 6 その他  
・10/23 ボランティアまつり方針確認  
・在庫バンダナの震災義援金化

<次回の理事会>

日時 11月20日(日) 9:30~12:00

場所 上郷森の家 ミーティングルーム2

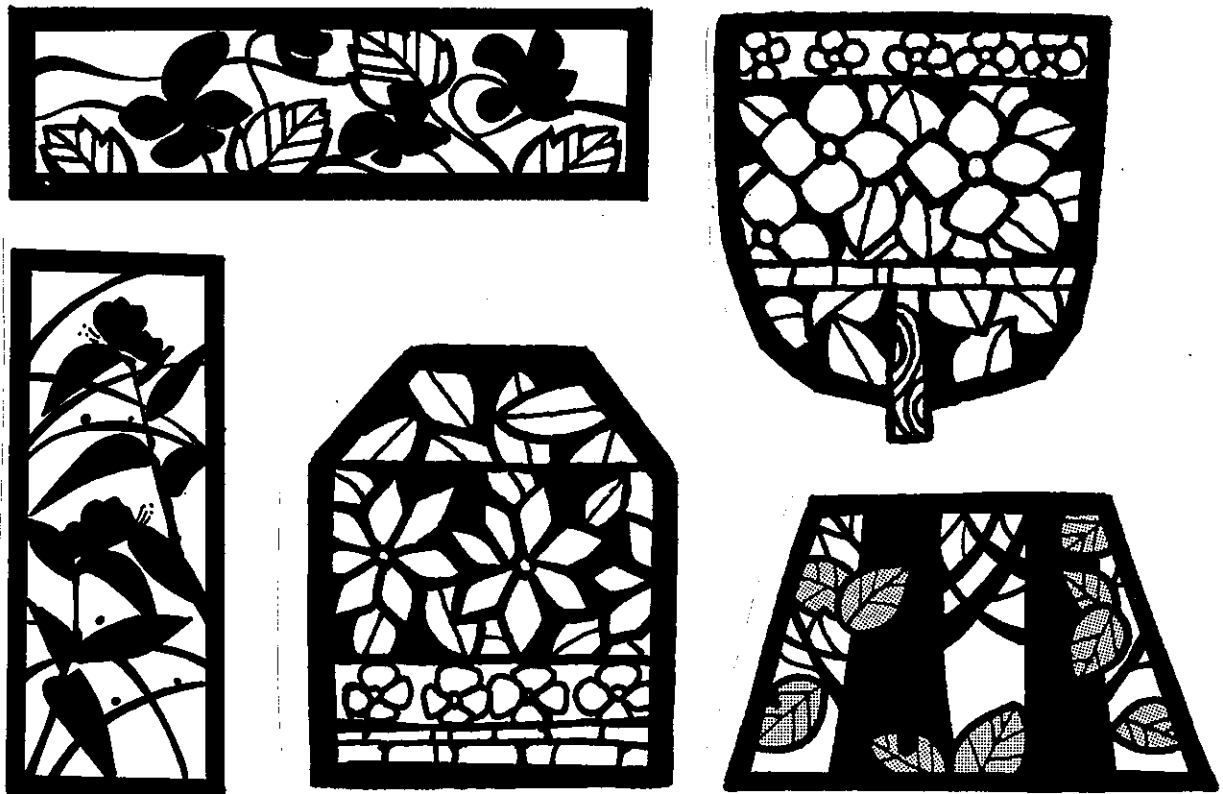
- 議題
- 1 中間報告・次年度方針
  - 2 利用推進会議 (後期)
  - 3 安全管理
  - 4 その他

●和室の片付けについて●

○横浜自然観察の森センターのリニューアルも今年度中に本格化いたします。  
○それに伴い、仮設センターへの引っ越しも7月末から8月に掛けて行われます。  
○この引っ越しの準備として、友の会としても和室の資機材の整理を行います。  
各PJならびに会員は、下記期限までに各PJおよび会員が保有している資機材の整理を行って  
ください。

1. 整理期限 6月末迄
2. 整理方法 段ボール箱の中に収納しPJ名と保管することの明記  
<段ボール箱は、和室にあるものを有効活用してください。>
3. 不用品はその由明記しておいてください。
4. 6月末までに整理されず、保管することの明記が無い物品については、この機会に所有者に断らずに廃棄処分することといたします。

取扱者 事務局



●ゴロ報の発送をしませんか？●

ゴロ報の会員への発送は、プロジェクトや事務局に所属する会員が中心になって行なっています。

「友の会の運営に興味があるけど、どうやって入れればいいかわからない」

「何か手伝いたい」

「事務仕事なら任せろ」

という方、ぜひ一緒にやりませんか？

二ヶ月に一度、「森を守るボランティア体験」の日の午後にやっています。気軽にセンター研修室へどうぞ。

次回の発送作業（担当：事務局内 野草の調査と保護）

日時：8/21（日）13:00～（1～2時間程度）

場所：自然観察センター研修室

# 友の会活動報告

## ●みんなでバードウォッチング●

“いきもののにぎわい”を確かめに、もりに来ませんか？

### ★4月10日 見聞きした鳥★

トビ、コジュケイ、コゲラ、アオゲラ、ヒヨドリ、  
シロハラ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、  
メジロ、ホオジロ、アオジ、シメ、ハシボソガラ  
ス、ハシブトガラス 計15種

### 次回のお知らせ

日時：7/10(日)、8/14(日)

9:00~13:00

受付：直接観察センター前に集合  
どなたでも

★双眼鏡の貸し出しあります

今日は鳥よりも桜。開花が遅かった桜が、満開。お花見日和でした。

鳥の方は、ちらりほらり。そんな中でウグイスが枝の先に出てきて、けんめいにさえす  
っている姿が印象的でした。

冬の鳥は、今月が最後でしょう。また、冬になったら戻ってくることを、期待しましよ  
う。

担当：鳥のくらし発見隊

ふむふむ

## 続・倒れた樹はどうなる？

今から3年前、ゴロスケ報々118号(2008年2月)でお話した「倒れた樹はどうなる？」の続きです。  
観察センター前の小道を入ると右側に根っこを見せてモンキチョウの広場に向かって倒れた樹(クマノミズ  
キ)があります。2007年9月7日台風7号の大風に遭って倒れてしまったのでした。

倒れこんだ梢はモンキチョウの広場の邪魔者のようにも見えます。普通の都市公園ならば「危ない・みっとも  
ない」と言われて直ちに除去されてしまいそうですが、観察センターは「観察資源として残す」と。

今年…来年…何年か後に、どんな姿になっていくのでしょうか。……というのが前回の「ふむふむ」でした。

では、あれから4年目のその後の様子はどうでしょう。

「枯れてしまった？」

いえいえ、元気いっぱいです。

「むっくりと起き上がって真っ直ぐに立った？」

いえいえ、それは無理だったようです。寝ころんでいます。

「倒れた角度のまま広場の中心に向かって伸びる？」「これからの枝は、そこから上に向かって伸びている？」

ええ、伸びています。でも下敷きになった枝は枯れてしまい、新しく芽を出すことはありませんでした。

梢のほうでは上に向かって伸び、さほど広場に突き出してはいないように見えます。

「むらじいなんかの思いもつかない良い格好になっている？」

ええ、目いっぱい頑張っているなあという様子に拍手したい程です。

幹の根元に近いところを見ると、沢山の胸吹き(幹や枝の途中から吹く芽のこと)が出て、すっくと立ち上が  
っています。でも、頑張りすぎたように一杯枝を出したので隙間もないほどです。

これって、あと何年かたつと、どんな姿になっているのでしょうか？

またまた気になって、見続けたいむらじいなのです。

(むらじい)

## ●トンボ池の整備●

5箇所あるトンボ池の内、周囲から池の中に草の侵入が著しく、トンボが産卵しにくくなっているトンボ池の除草、ならびに、土砂の堀上を行いました。

1. 実施日 H23年5月14日(土) 9時30~11時

2. 実施内容

9時過ぎから、恒例のトンボ池の整備を行いました。(参加者はスタッフ 3名。)

◇横浜自然観察の森では、昨年27種類が確認できました。

◇昨年よりピークが遅れているようでしたがハラビロトンボの30体以上の乱舞が見られました。また、クロスジギンヤンマのみが優雅な姿を見せてくれました。

◇今回のトンボ池は、夏場には干上がってしまうことも有る小さな池ですが、今年はなんと成虫で越冬するホソミイトトンボのみ1頭が可憐な青色に模様替えして御披露目してくれました。

◇観察の森は、種類ごとの生息環境の範囲が非常に狭いため個体数が少ない種類が多く、環境整備が求められているため、今後も引き続きトンボ池の整備を計画しておりますので、トンボ生息環境整備に参加してみませんか。

担当：カワセミファンクラブ 平野

## ●鶴見川源流祭に参加しました●

第21回鶴見川源流祭が5月8日東京都立小山田緑地にて開かれ、参加しました。

快晴に恵まれ、午前中の町田市による源流ウォッチングでは鶴見川源流保水地域の広大な緑を楽しむことができました。

ブース出展の行政・企業の方々・連携する市民団体・源流ウォッチングからの参加者で総数700名以上で盛況でした。

神奈川植樹祭の歌「森へ行こう」の白井貴子さんも駆けつけ記念ライブで盛り上がりました。

河口生麦から42.5kmのフルマラソンで駆けつけた方もおられました。鶴見川の総延長はフルマラソンと同じ距離。覚えやすいですね。

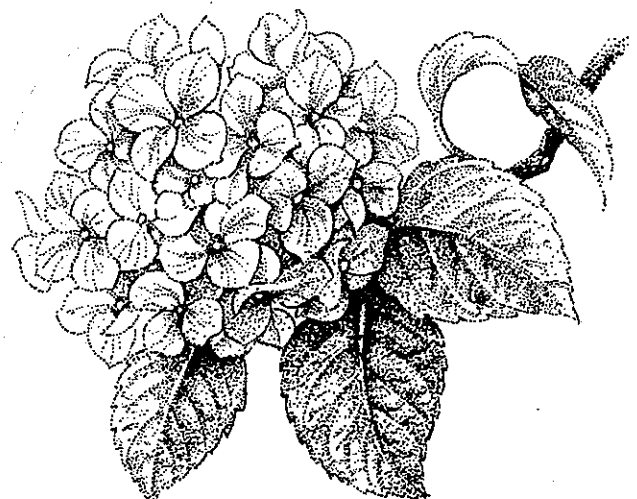
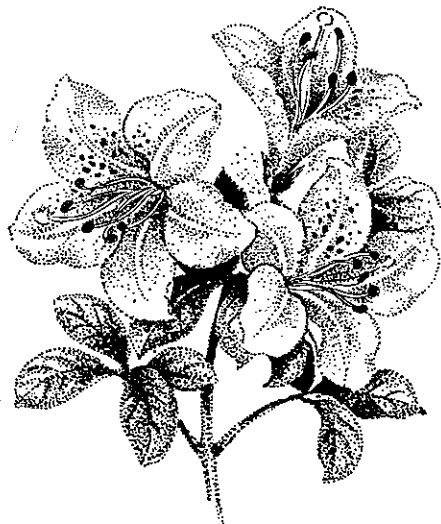
鶴見川は全国に先駆け水マスタープランとして、河口・中流の洪水対策、源流の保水の森の保護、全域にわたる親水施設の工夫、親水イベントの開催を総合的に成し遂げてきています。行政、企業、大学、市民団体の連携が大きな規模で機能していることを感じました。

TRネット(鶴見川流域ネットワーク)の創立20周年にもあたりました。長い間の民間と行政の努力があって地域の連携が成し遂げられていること。

TRネットの人はほぼ一生をかけ運動にかかわり、行政の人は任期の制約がありながらも継承してここまで来たんだなと思いをはせました。

また一年流域、丘陵の活動を積み重ね、源流祭で会いましょう。

担当：杉崎泰章



気になる生きもの—ホタル

もうでた？

ホタル ニュース



今年は関東の梅雨入りが一週間以上も早かったそうですね。ホタルはこの早い梅雨入りをどう思っているのでしょうか？

自然観察センターでは毎年、5月下旬から7月上旬にかけて、一週間ごとにホタルの数の確認調査をおこなっています。今年最初にホタルが確認された調査は6月5日でした。ヘイケボタルが3。ゲンジボタルが0。さらに11日、土砂降り雨のあがった直後のイベント「ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場」では、ヘイケボタル約20、ゲンジボタル約10が見られました。

これまでゲンジボタルはヘイケボタルより早く発生するか、同じ時期くらいでしたが、今年はずすかに早くヘイケボタルがスタートしました。

みなさんの手元に「ゴロ報」が届く頃、森は今年もホタルでいっぱいになっているのでしょうか？

## 水辺にでかけよう月間

が、スタートしています！

今年度は一年間の行事を環境別に3つの月間に分けてPRしています。5月～7月は「水辺にでかけよう月間」と称して、園内のいたち川やヘイケボタルの湿地の生きたちと出会い、触れ合うイベントをおこなっています。

自然観察センター館内では、ホタル速報とともに、ホタルの大きさや暮らしに関する展示もおこなっています。

明るい日差しの中、涼しい風とともにいたち川を散策してみたいかがでしょうか？

## ボランティアさん ありがとう

- 4/23 武田さん（雑木林ファンクラブ）ミズキの枝切り作業への協力
- 4/24 工藤さん、関根さん（雑木林ファンクラブ）水槽の掃除の協力
- 4/30 平野さん（カワセミファンクラブ）にぎわいの谷チョウ・トンボ調査への協力
- 4/30 武田さん（雑木林ファンクラブ）パソコン設定の相談
- 4/30 斎藤さん（雑木林ファンクラブ）コマの寄贈
- 4/30 秋元さん（PJ-Strix）施設の安全対策・危機管理に関する相談、情報提供
- 5/3 事務局：野草プロジェクトのみなさま 園内の植生木リストの見直しの協力
- 5/8 鳥のくらし発見隊のみなさま センター主催行事のサポート
- 5/8 中里さん、荻野さん、上原さん（鳥のくらし発見隊）にぎわいの谷鳥類調査への協力
- 5/10 事務局：野草プロジェクトのみなさま 管理作業における希少植物の保護の協力
- 5/14 カワセミファンクラブのみなさま、事務局：野草プロジェクトのみなさま  
トンボ池のキショウブ（外来種）の除去作業への協力
- 5/14 武田さん（雑木林ファンクラブ）パソコン設定の相談
- 5/24 平野さん（カワセミファンクラブ）にぎわいの谷チョウ・トンボ調査への協力
- 6/4 斎藤さん（雑木林ファンクラブ）木工おもちゃ寄贈
- 6/5 漆原さん、平野さん 車庫の整理・片付け作業への協力
- 6/11 武田さん（雑木林ファンクラブ）パソコン設定の協力
- 6/11 武田冬馬さん（雑木林ファンクラブ）イベント用ホタルのお面づくりへの協力

来館者からの声 この写真、いつもすごいね！ カワセミファンクラブのみなさんの写真です。自然情報コーナーにて。

おぼえていますか？

## ～みんなで考えた！森の将来像「保全管理計画」についてのとくみ①～

横浜自然観察の森では、2000年～05年にかけて、どんな森を目指していくのか、友の会の皆さんと観察の森の保全管理計画について話し合い、策定してきました。

今年のは観察の森が目指す森について、どんな森づくりを行なっていけばいいのか？横浜市の情報なども加え掲載をしております！

### 横浜自然観察の森の特徴・役割を考える



### 森の目的を決める

観察の森ってどんなところ？

- 市内最大の緑地「円海山周辺の緑地」の一角にある。
- 照葉樹林（タブのキ等）の北限域
- 源流の森である。

などの特徴があります

【森の役割】

2001年には・  
観察の森 15周年の記念イベントにて、友の会メンバーや円海山域で活動しているグループが集まりどんな森を目指そうか熱く語りあいました。

【市民からの意見収集】

2002年～横浜自然観察の森が目指す森は・・・

いきもののにぎわいのある森（生物多様性の保全された森）を目指していこう！

※いきもののにぎわいのある森とは・・・

その地域にもともとすんでいた多様な生物が、本来の自然な関係（食う-食われる・花粉や種子を運ぶ-運ばれる・エサをめくって争う）などのつながりを持ちながら生きていける、様々な環境が保全された森を指します。沢山の生きものがいければいいということではありません。

### 森全体のゾーニング（区域わけ）をする

みんなでどんな森になったらいいのかさらに話し合うために・・・

くいきもののにぎわいを考える会の開催（2002年～2005年）>を開催しました！

センターから、観察の森のゾーニング（区域わけ）を提案し、意見交換を行いました。

全12回開催  
友の会 雑木林ファンクラブ・野草プロジェクトの方々をはじめ、センター主催行事の参加者など多くのメンバーが関わり、意見交換を行いました。

森の「どこ」を「何の目的で」保全・管理していくのかを決める、「ゾーニング」について話し合いました！

＜ゾーニングの方針＞

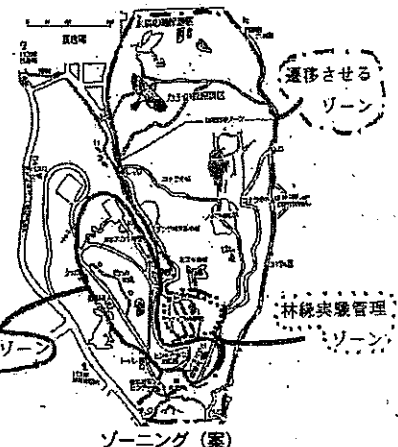
1. 雑木林管理ゾーン：様々な環境・成長段階の雑木林を緑地の周辺に配置する。
2. 遷移ゾーン：手を入れずに中央部分はシイやタブの木の照葉樹林にしていく。
3. 林縁ゾーン：林縁植物（つる植物等）の生育する場所を確保する。

園内を3つの区域に分けて設定しました。

今回は、「雑木林管理ゾーン」についての管理計画について詳しくお伝えしていきたいと思っております。

※注「二次林で遷移をとめるゾーン」は「雑木林管理ゾーン」を指します。

※参考資料：横浜自然観察の森調査報告書 2004・2005



ゾーニング（案）

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

# 行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

※今後、余震、計画停電等の影響により開催時期等変更が生じる可能性があります。事前に観察センターまでお問い合わせください。

## ●定点カメラで動物調査

7/9(土)・8/13(土)

10:00～12:00

小雨決行(雨天時日程変更あり)

12月までの毎月第2土曜

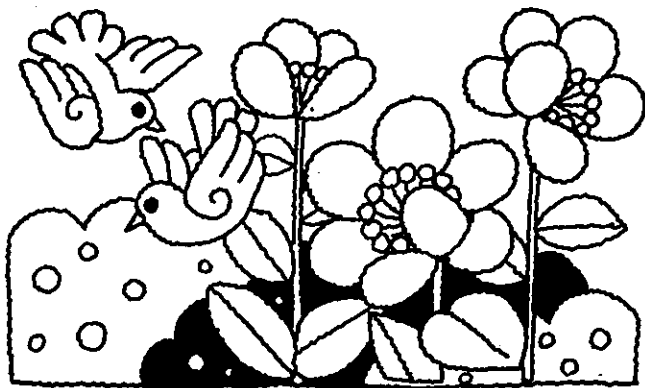
対象：友の会会員、どなたでも

内容：フィルム交換・写真の同定

持ち物：水筒・汚れても良い白っぽい服・歩きやすい靴・タオル・帽子・虫除け(少し藪に入ります)。着替えもできます。

担当：事務局

→1ページ参照



## ■いきものを知る守るシリーズ

～いたち川のちいさな生きもの編～

日時：7/2(土) 10:00～15:00

雨天：7/9(土)に延期

対象：小学生とその保護者40名(抽選)

申込：事前申込制。センターまで要問合せ。

締切：6/18(土)

担当：自然観察センター

## ■ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

日時：6/25(土) 19:00～20:00

対象：どなたでも。定員なし。

申込：不要。当日センター前へ。

内容：ホテルってどんな生きもの?レンジャーとボランティアがご紹介します。

担当：自然観察センター

## ●定例行事●

### ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～

8/21(日) 9:30～12:30

受付：直接、上郷森の家ミーティングルーム1へ

対象：どなたでも 雨天催行

\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

### ●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

7/3(日)・8/7(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 直接観察センター前へ

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

7/10(日)・8/14(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：直接観察センター前へ 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～

7/20(水) ※8月はお休み

10:00～12:00 絵本製作

受付：直接センター研修室へ 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

6/25(土)・7/23(土)・8/27(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 直接観察センター前へ

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2011年6月19日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

[http://www.geocities.jp/yns\\_tomo/](http://www.geocities.jp/yns_tomo/)

E-mail: yns\_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：原稿締切7/23(土)、発送8/21(日) (担当：事務局内 野草の調査と保護)